

玉川学園で主権者教育

**7月5日・6日参議院選にともなう「模擬選挙」を実施！
— 9・12年生の社会科・公民科の授業を公開 —**

玉川学園（東京都町田市／学園長：小原芳明）は、7月5日（火）・6日（水）に、参議院選挙にともなう主権者教育として、模擬選挙を実施します。これは、9～12年生（中学3年生から高校3年生）の地歴・公民科の授業の中で、未成年の視線で“1票”を投じることにより、日本社会や政治への関心を高めることを目的としています。

模擬選挙は2002年から開始し、16回目となる今回は、下記の要領で授業公開を実施します。



<2014年 衆議院選挙時期の授業の様子>

●第16回主権者教育 模擬選挙 授業公開 概要

【模擬選挙メディア公開日】 7月5日（火）・7月6日（水）

【公開時間】

7月5日（火）

- 9:45～10:35 科目名：「現代の社会」 対象 9年生（中学3年生）
- 10:45～12:35 科目名：「World Studies」 対象 12年生（高校3年生） 2時限連続授業
- 11:45～12:35 科目名：「現代の社会」 対象 9年生（中学3年生）
- 13:25～14:15 科目名：「現代の社会」 対象 9年生（中学3年生）
- 14:25～15:15 科目名：「現代の社会」 対象 9年生（中学3年生）
- 15:30～16:15 放課後 中央委員会（生徒会）による公開よびかけ投票

7月6日（水）

- 8:45～9:35 科目名：「現代の社会」 対象 9年生（中学3年生）
- 15:30～16:15 放課後 中央委員会（生徒会）による公開よびかけ投票

【実施場所】 玉川学園高学年校舎

【協力】 町田市選挙管理委員会・模擬選挙推進ネットワーク

●当日取材可能な事項

- ・授業の様子
- ・担当教員へのインタビュー
- ・授業参加生徒へのインタビュー（10分程度） ※休憩時間内での対応になります。
- ・模擬投票所の運営補助にあたった保護者へのインタビュー（両日とも夕方のみ）

※取材申し込みについては、別添の取材申し込み用紙にご記入の上、下記連絡先にFAXをお願いいたします。

<本リリースに関するお問合せ>

玉川学園教育企画部広報課 〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

電話 042-739-8710 E-mail: pr@tamagawa.ac.jp

玉川学園で実施する模擬選挙について

玉川学園では、2002年から9～12年生（中学3年生から高校3年生）の地歴・公民科における政治分野の体験学習プログラムとして、模擬選挙を実施。その時々々の政治情勢に応じて国政選挙や地方自治体選挙の時期を活用し、これまでに15回行ってきました。

今回の模擬選挙では、9年生（中学3年生）の社会の授業および12年生（高校3年生）の一部の授業で投票を行います。他学年は、終会後に校舎入口に投票所を設け、投票を呼びかけて実施します。

授業では、選挙公報やNPOがまとめた政策比較表を読み、それぞれの候補者、政党の主張や政策を知り、自らの疑問点をまとめて批判的に情報を読む力を養います。疑問点や争点などを担当教諭が解説。その後、自分の考えにあった政党へ投票します。（政党名投票のみ）

中央委員会（生徒会）が選挙管理委員会となり、この選挙の運営を担います。また、地域協力の一環として父母会にも協力を仰ぎ、当日は中央委員と共に父母が選挙運営の補助に携わります。開票は7月11日（月）の放課後（16:00～17:00）実施予定。現在、地歴・公民科と図書館司書教諭とのコラボレーションで、図書館内で「参議院選挙特設コーナー」が設けられており、主権者教育に関する書籍も展示し、積極的に啓発活動を行っています。

本学園の模擬選挙は、可能な限り「現実の選挙」に近い形で行われることが特徴。選挙公報、投票箱や記載台、政党名一覧、めいすい君は町田選挙管理委員会から借用します。また、有権者名簿の確認や、二つ折りの投票用紙を手渡すなどのプロセスの面でも工夫があります。生徒たちは、実際の選挙公報やマニフェスト、新聞・メディアを見ながら、どの政党に投票すべきかを熟考します。

<2014年 衆議院選挙、2013年参議院選挙の模擬選挙の様子>

